

1人1台端末 Chromebook



小学校編

学校生活への 導入イメージ

1人1台端末の導入による1日の学校生活の活用イメージと、「課題探究的な学習」を充実させるための活用プランです。いつでも、どこでも、すぐに使える多機能文房具として活用することで、多様な学習活動が可能になるとともに教師からの説明やプリントの配付・回収の時間等を縮減し、課題解決に向けた追究の時間を確保することも可能になります。

8:25 登校(健康観察)

登校後、教室の保管庫から自分の端末を出し、自分の机の上に置き、電源を入れる。「Google Classroom」を開き今日の連絡事項を確認した後、「Google フォーム」等で作成された健康観察から、自分の健康状況を送信する。朝の会では、確認した連絡事項を基に先生の話聞く。



10:00 授業(教室)

(国語の例)「Google Classroom」により、前回提出したプリント結果を確認する。スピーチ動画を撮影し合い、互いのスピーチの改善点を出し合い再度練習する。
(社会の例)「Jamboard」を使ってコメントを出し合い、課題について考える。コメントしたものは画面上で共有・記録する。



10:30 中休み・昼休み

体育委員会で撮影した縄跳びの動画を見て、縄跳びに挑戦し、記録を共有したり、図書委員会の活用でおすすめの本の紹介ポスターを作成したりするなど、児童会活動等で使用する。



14:00 授業(校外学習)

(事前・事後学習の例) インターネットで訪問先について調べる活動や、必要な情報をデジタルデータにし、端末に保存し、取材やまとめに活用する。
(体験活動時の例) 活動や取材中の写



15:10 帰りの会(連絡)

帰りの支度をした後、自席に戻り、「Google Classroom」により明日以降の連絡事項を確認する。帰りの会では、先生の話と「Google Classroom」を活用し、一日の振り返りと翌日の予定を確認する。



授業活用 プラン



事象への働きかけ 課題の把握・課題の設定

- ・ 前回の板書や振り返りシートから、学習の見通しをもつ手だてとして活用する。
- ・ 学習意欲を高める資料を提示する。
- ・ 課題に対する即時アンケートをとり、授業に活用する。
- ・ パフォーマンスを各自撮影し、課題の設定に生かす。

課題解決に向けた追究 課題の解決

- ・ 考えを入力し、交流し合えるようにする。
- ・ 活動の様子を動画や写真で撮影し、見合う。
- ・ 実験のデータや記録をしたりする。
- ・ グループで共同編集活動を行う。
- ・ 情報を収集し、まとめる。

新たな課題への気付き 日常生活との関わり

- ・ 振り返りの入力や学習ノートの記録を撮影する。
- ・ 成果物や記録から学習を振り返る。
- ・ 小テストを各端末へ送信し、実施する。
- ・ 学んだことを自分のペースで復習する。

プラン1 授業のほぼすべての活動で使用する



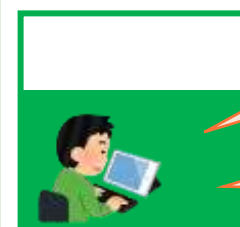
資料から課題をもつ

意見交流

振り返りの入力

<使用アプリ例> Google Classroom、BANSBOT、スライド・フォーム・Jamboard など

プラン2 授業の中盤以降から使用する



調べ学習で活用

進捗状況を報告

<使用アプリ例> Google Classroom、Jamboard、フォーム・ドキュメント・スライドなど

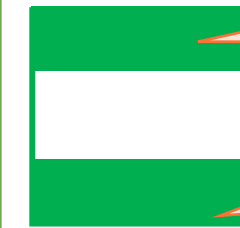
プラン3 授業の中盤で使用する



共同作業や意見交流など

<使用アプリ例> Jamboard、スライド、フォームなど

プラン4 授業のはじめとおわりで使用する



前回までの学びを共有

学んだことを個別に復習

<使用アプリ例> Google Classroom、BANSBOT、フォーム、イーボードなど